



# 国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No. 287

2024.8 (臨時号)

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しみ、積極的に活用するためにつくられました。

発行日 2024年8月1日  
編集・発行 公益財団法人千里文化財団

民族学研修の旅  
体験セミナー

今秋募集開始！海外「民族学研修の旅」を再開します！

## 友の会の現地訪問企画のご案内

研究者同行の海外訪問企画「民族学研修の旅」。2019年の訪問をさいごに休止していましたが、このたび再開の運びとなりました！訪問先はメキシコです。募集開始は9月初旬で、2025年2月の実施を予定しています。あわせて、今年度1本目の国内訪問企画「体験セミナー」についてもご案内いたします。研究者同行の現地訪問企画は、みんぱく友の会の醍醐味です。みなさん、ぜひご参加ください。

民族学研修の旅の計画をちょっとのぞき見！

### メキシコの民衆芸術を訪ねます！

2023年春に開催したみんぱくの特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」。会期中はたくさんの来館者でにぎわいました。この特別展のコンセプトを現地で体験するのが、今年度の研修の旅です。ラテンアメリカ諸国では、民衆のつくる洗練された手工芸品を「アルテ・ポプラー（民衆芸術）」とよびます。特別展では三つの意味から「民衆芸術」をとらえました。ひとつめは、多様な文化から生み出された伝統的な造形表現、ふたつめは国民の芸術としての表現、三つめは市民の批判精神としての表現です。今回は、訪問先をメキシコにしぼり、民衆芸術をとおして、ラテンアメリカの人びとが経験してきた歴史の多層性と文化の多重性を肌で感じます。旅では、民衆芸術の生産地やみんぱくの所蔵資料を制作した工房を訪ねます。みんぱくゆかりの職人による指導のもと、手工芸品づくりのワークショップも計画！公共空間に描かれた壁画や版画作品を見学するほか、古代文明の遺跡や植民地時代に建設された教会、ローカルな市場などにも足を運びます。（2025年2月中下旬実施予定）



陶芸の町、メヒコ州メテベックでつくられる生命の木。  
みんぱく所蔵のこの作品を制作した工房も訪問します。

体験セミナーは次ページでくわしく！

### 民間信仰、いざなぎ流に迫ります！

いざなぎ流いざなぎのりゅうが伝わる高知県香美市物部町を訪ねます。いざなぎ流は、陰陽道や修験道、密教や神道などが入り混じってできたといわれる信仰で、物語性豊かな祭文、神がみをあらわした御幣などが知られています。いざなぎ流をとおして「見えない存在」とともに生きてきた、山間地域の人びとの暮らしや想像力に迫ります。（2024年10月実施予定）



日月祭の三十三度の礼拝神楽 撮影・梅野 光興

館内の催しもお楽しみに ▶▶▶ 8月の会員先行予約のご案内

◎申込期間中に、下記友の会事務局までご連絡ください◎

第549回みんぱくゼミナール  
「世界を異化する歌と語り——エチオピアの吟遊詩人」  
9月21日（土）13:30～15:00（13:00開場）  
講師：川瀬 慈（民博教授）  
申込期間：8月8日（木）～16日（金）

みんぱく映画会  
「一八九五」  
9月8日（日）13:30～16:15（13:00開場）  
解説：河合 洋尚（東京都立大学准教授）、司会：奈良 雅史（民博准教授）  
申込期間：8月2日（金）まで

友の会に関するお問い合わせ・お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

国立民族学博物館友の会  
公益財団法人千里文化財団

〒565-8511  
大阪府吹田市千里万博公園10-1（国立民族学博物館3階）  
電話 06-6877-8893（9:00～17:00、土日祝を除く）  
FAX 06-6878-3716  
email minpakutomo@senri-f.or.jp  
HP [https://www.senri-f.or.jp/minpaku\\_associates/](https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/)



